

## 令和2年度 社会福祉法人三恵会事業報告書

### 1. 事業概要

特別養護老人ホームを中核とし、ショートステイ、デイサービス、在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所、養護老人ホーム等の社会福祉事業を行い、お年寄りの介護を通して、地域の方々の生活を支援しています。

### 2. 監査会 令和2年6月17日(水) ひかわ会議室

(参加者 監事2名、理事2名、事務局1名)

1. 令和元年度(平成31年度)収支決算の監査

### 3. 理事会

#### 第1回 令和2年6月18日(木) 書面開催

1. 令和元年度(平成31年度)事業報告
2. 令和元年度(平成31年度)決算報告
3. 監事監査報告
4. 市監査指導室・消防署・保健所の立入検査指摘事項について

#### 第2回 令和2年11月18日(水) ひかわ会議室

(参加者 理事6名、監事2名、事務局1名)

5. 令和2年度上半期事業報告
6. 令和2年度一次補正予算案について
7. 感染症対策用品・機器購入について
8. 評議員会の議題について
9. 富士見園の建て替え計画について

#### 第3回 令和3年3月5日(金) ひかわ会議室

(参加者 理事6名、監事2名、事務局2名)

10. 令和2年度下半期事業報告
11. 令和2年度二次補正予算案について
12. 令和3年度事業計画について
13. 令和3年度当初予算案について
14. 令和3年度就業規則、給与規定変更について
15. さいたま市監査指導、消防署立入検査報告
16. 令和3年度役員賠償責任保険契約内容について
17. 評議員専任解任委員会の招集について
18. 新評議員候補者の推薦について
19. 新理事、新監事候補者の選定について
20. 養護老人ホーム富士見園の施設長変更について
21. 次回評議員会の議題について

#### 4. 評議員会

- 第1回 令和2年6月18日(木) 書面開催
1. 令和元年度(平成31年度)事業報告
  2. 令和元年度(平成31年度)決算報告
  3. 監事監査報告
  4. 市監査指導室・消防署・保健所の立入検査指摘事項について
- 第2回 令和2年11月22日(日) ひかわ会議室  
(参加者 評議員6名、監事2名、事務局4名)
5. 令和2年度上半期事業報告
  6. 令和2年度一次補正予算案について
  7. 感染症対策用品・機器購入について
  8. 富士見園の建て替え計画について
- 第3回 令和3年3月14日(日) ひかわ会議室  
(参加者 評議員6名、事務局5名)
9. 令和2年度下半期事業報告
  10. 令和2年度二次補正予算案について
  11. 令和3年度事業計画について
  12. 令和3年度当初予算案について
  13. 令和3年度就業規則、給与規定変更について
  14. さいたま市監査指導、消防署立入検査報告

#### 4. 目標に対する自己評価 <三恵会>

|        |  |
|--------|--|
| 法人 目標① | 高齢で普通の生活が出来なくなった人達に対して「あたりまえの生活が出来るように支援していく」と云う法人理念に則り、お年寄りとそのご家族を支援していく。 |
| 重点課題   | 関係者とのコミュニケーションを深め、相互理解と共通目標の確認をしていく。                                       |
| 評価     | 法人理念は職員に浸透しており、入居者やご家族ともコミュニケーションが取れている。今後も引き続き法人理念に則り運営していく。              |

|        |  |
|--------|--|
| 法人 目標② | 特別養護老人ホーム三恵苑および養護老人ホーム富士見園の建替え計画を進める。  |
| 評価     | 特別養護老人ホーム三恵苑と養護老人ホーム富士見園を1つにまとめるか、またそれぞれを個別で改修するか等、様々な方向性を考慮して検討を行っている。今後更に詳細を検討し実現可能な計画を作成する。 |

## 特別養護老人ホーム三恵苑事業報告

### 1. 事業概要

人生の最後を悔いなく、楽しく送って頂けるように。

そして『あたり前な生活が出来るように』特養入居者 76 名と短期利用者 4 名のお年寄りの生活を支援しています。

### 2. 月間利用者延人数（特養・短期合計）

| 令和<br>1年 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 合計     |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
|          | 2,289 | 2,425 | 2,281 | 2,312 | 2,296 | 2,159 |        |
| 10月      | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |       |        |
| 2,230    | 2,297 | 2,331 | 2,253 | 2,242 | 2,415 |       |        |
| 令和<br>2年 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 合計     |
|          | 2,319 | 2,443 | 2,359 | 2,374 | 2,393 | 2,356 | 28,087 |
|          | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    |        |
| 2,452    | 2,378 | 2,324 | 2,228 | 2,115 | 2,346 |       |        |

### 3. 退所の状況

退所者 22 名（昨年度 24 名）

| 性別 | 年齢  | 介護度 | 退所理由   | 性別                  | 年齢  | 介護度 | 退所理由   |
|----|-----|-----|--------|---------------------|-----|-----|--------|
| 女  | 93  | 3   | 苑にて看取り | 女                   | 97  | 4   | 苑にて看取り |
| 女  | 94  | 5   | 病院にて逝去 | 男                   | 71  | 3   | 利用終了   |
| 男  | 88  | 4   | 療養入院   | 男                   | 73  | 3   | 病院にて逝去 |
| 男  | 78  | 4   | 病院にて逝去 | 男                   | 83  | 4   | 療養入院   |
| 男  | 86  | 3   | 病院にて逝去 | 女                   | 95  | 4   | 苑にて逝去  |
| 女  | 79  | 3   | 苑にて逝去  | 女                   | 103 | 4   | 苑にて看取り |
| 女  | 92  | 4   | 苑にて看取り | 男                   | 81  | 5   | 病院にて逝去 |
| 女  | 92  | 4   | 療養入院   | 女                   | 89  | 3   | 療養入院   |
| 男  | 96  | 4   | 苑にて看取り | 男                   | 89  | 3   | 苑にて看取り |
| 男  | 101 | 4   | 苑にて看取り | 男                   | 80  | 4   | 病院にて逝去 |
| 男  | 80  | 5   | 病院にて逝去 | 退所者平均年齢 86.50 歳     |     |     |        |
| 女  | 89  | 5   | 苑にて看取り | 看取り 昨年度 9 名 今年度 8 名 |     |     |        |

### 4. 入居者の年齢構成

（4月1日時点）

|   | ～69 | 70～74 | 75～79 | 80～84 | 85～89 | 90～94 | 95～99 | 100～ | 平均    | 最高齢 |
|---|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----|
| 男 | 2   | 3     | 8     | 7     | 3     | 0     | 0     | 0    | 78.34 | 89  |
| 女 | 3   | 4     | 6     | 11    | 12    | 14    | 2     | 1    | 84.45 | 100 |
| 計 | 5   | 7     | 14    | 18    | 15    | 14    | 2     | 1    | 82.60 | 100 |

### 5. 入居者の介護度別人数

（4月1日時点）

| 介護度  | 介護度1 | 介護度2 | 介護度3 | 介護度4 | 介護度5 | 平均介護度 |
|------|------|------|------|------|------|-------|
| 令和1年 | 1    | 7    | 26   | 28   | 14   | 4.08  |
| 令和2年 | 3    | 4    | 27   | 27   | 15   | 3.62  |

## 6. 月別入・退所者状況

| 月別  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 計 |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|----|
| 在籍  | 74 | 76 | 75 | 76 | 75 | 75 | 75 | 75 | 72 | 70 | 76 | 74 |   |    |    |
| 入院者 | 2  | 3  | 0  | 2  | 4  | 1  | 1  | 2  | 3  | 3  | 3  | 4  |   |    |    |
| 入所  | 男  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 1  | 1  | 1  | 2  | 4  | 0 | 11 | 23 |
|     | 女  | 3  | 2  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 2  | 1  | 2  | 1 | 12 |    |
| 退所  | 男  | 0  | 1  | 1  | 0  | 1  | 0  | 0  | 1  | 4  | 3  | 0  | 1 | 12 | 22 |
|     | 女  | 2  | 0  | 0  | 0  | 1  | 1  | 1  | 0  | 2  | 2  | 0  | 1 | 10 |    |

## 7. 職員の状況

(特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

| 職名   | 人数 |     | 兼務の状況                | 性別 | 資格            |
|------|----|-----|----------------------|----|---------------|
|      | 常勤 | 非常勤 |                      |    |               |
| 施設長  | 1  |     |                      | 男  | 社会福祉主事        |
| 事務員  | 1  |     |                      | 女  | 衛生管理者、ヘルパー2   |
| 事務員  | 1  |     | ○                    | 女  |               |
| 事務員  |    | 1   |                      | 女  | 社会福祉主事        |
| 相談員  | 1  |     | ○                    | 男  | 介護支援専門員、介護福祉士 |
| ケアマネ | 1  |     | ○                    | 男  | 介護支援専門員、社会福祉士 |
| 主任   | 1  |     |                      | 男  | 介護福祉士         |
| 主任   | 1  |     |                      | 女  | 介護福祉士         |
| リーダー | 1  |     |                      | 男  | 介護福祉士         |
| リーダー | 1  |     |                      | 女  | 介護福祉士         |
| 介護職  | 9  |     |                      | 男  | 介護福祉士         |
| 介護職  | 5  | 3   |                      | 女  | 介護福祉士         |
| 介護職  | 1  |     |                      | 男  | 介護職員初任者研修     |
| 介護職  | 2  | 2   |                      | 女  | 介護職員初任者研修     |
| 介護職  | 1  |     |                      | 男  |               |
| 看護師  |    | 3   |                      | 女  | 正看護師          |
| 看護師  | 3  |     |                      | 女  | 准看護師          |
| 栄養士  | 1  |     |                      | 女  | 管理栄養士         |
| 介助員  |    | 2   |                      | 男  |               |
| 洗濯   |    | 3   |                      | 女  |               |
| 宿直員  |    | 3   |                      | 男  |               |
| 合計   | 31 | 17  | 介護職員:入居者数 = 1 : 2.42 |    |               |

## 9. 目標に対する自己評価

|              |   |
|--------------|---|
| 特養<br>目標①    | 入居者が笑顔で生活して頂けるよう、職員全員で“三恵苑”という生活の場を作っていく。   |
| 重点課題         | 入居者を敬い、思いやりの気持ちを忘れずに接することを心がける。また職員同士も思いやりの気持ちを持って、全員で助け合いながら業務を行う。   |
| 評価           | 入居者や職員間で“思いやり”を持った行動ができていた。特に新型コロナウイルスの予防意識を高く継続できており、全員で助け合って業務を遂行できていた。また入居者は新型コロナウイルスの影響で面会やレクリエーションが満足に実施できない1年だったが、それでも入居者が笑顔で生活できるよう職員が様々な工夫を凝らし、少ないながらも満足いただける行事等を企画し開催した。今年は見守り職員充足しているが、非常勤の介護職員の離職が多く、現在もまだ補充ができていない状況が続いている。 |
| 特養<br>目標②    | 入居者が安心して生活できるよう、また職員が安全に働けるように施設の環境を整備していく。   |
| 重点課題         | 施設の老朽化している部分の修繕や機器の整備を行う。また職員の腰痛を軽減するため、福祉機器の有効活用に努め、職員が安心して長く働ける職場環境をつくっていく。   |
| 評価           | 今年腰痛による離職者はいなかったが、体力面が原因による離職者が出ている。今後も継続的に職員の業務効率化を図り、介護にかかる時間を多く取ることで体への負担軽減を図っていく。また整理整頓に対する問題意識も高まっており、施設内、入居者の居住空間における問題点もしっかりと報告され改善がされていた。   |
| 介護【1階】<br>目標 | 1. 自然と笑みがこぼれる環境を提供し、充実した毎日を送ってもらう<br>2. 安心、安全な生活を支援する事への意識付けを行う   |
| 重点課題         | 1. 入居者が何を求めているかを推察し行動する事で、満足した生活を送って頂き、笑顔の絶えない日々を過ごしていただく。<br>2. 目配り、気配り、心配りを密にする。また、日常生活上不具合が生じないよう環境整備に努めていく。   |
| 評価           | 面会自粛・制限のある生活の中で、できる限りの楽しみを提供し笑顔を頂けた機会も多かったと思う。しかし、未然に防げた事故もあった為、細部にも目を配り、より安全への意識を強く持ち接していきたい。  |
| 介護【2階】<br>目標 | 1. 笑って過ごせる雰囲気を作る<br>2. 様々な認知症ケアを学び続け、より良いサービスを提供する  |
| 重点課題         | 1. 入居者個々に合った、表情や言葉(丁寧語)で、指示的な言動はさけ、入居者本位の立場に立ち接する。<br>2. 色々な視点を持ち、認知症の知識・技術を高め、職員間で入居者個々の情報共有し、その人に合った対応を行う。  |
| 評価           | 1. 言葉使いを気にして利用者に接している様子が有ったが、余裕がない時などに指示的言動が出る職員がいるので意識を変えるように理解の促しが必要。   |

|           |  |
|-----------|--|
|           | 2、外部集合型研修が少なくなったが、動画配信型の研修を出来るだけ参加してもらった。職員個々の知識量や経験にばらつきはあるが、情報共有を行い同じ対応(個別ケア)が出来る様に努めた。  |
| 医務室<br>目標 | 1. 入居者の状態把握に努める<br>2. 職員の健康管理に努める<br>3. 入居者の医療対応時の書類等を充実させる  |
| 重点課題      | 1. 入居者の入れ替わりが多く、個々の疾病や内服薬管理と身体状況の把握に努め、ADLを維持しつつ穏やかに生活出来る様、支援する<br>2. 職員が相談し易い医務室、看護師を目指す<br>3. ご本人、ご家族の意思の確認を行い、医療機関受診時の書類を整備する       |
| 評価        | 1. 利用者の状態把握・薬の管理や変更の対応も概ね出来ているコロナの感染対策の為にリハビリが中止になりADLの低下に繋がる様子もあった<br>2. コロナ対策等に神経と時間を要し、職員からの相談業務に十分に対応が出来なかった<br>3. 書類の作成には、概ねできている |
| 厨房<br>目標  | 1. 嚥下調整食分類表の整備を行う<br>2. 食中毒防止、従業員の感染症予防の徹底を行う<br>3. 安定したおいしさを提供する  |
| 重点課題      | 1. さいたま市による地域連携事業に協力を行います<br>2. 衛生ルールに従い、食中毒を起こさないだけでなく、厨房スタッフの健康管理にも留意します<br>3. 入居者様のご意見、検食簿の意見等を反映し、安定した味付けのお食事を提供します                |
| 評価        | 1. 施設長と協議し、今年度は見送りすることになった。<br>2. 清掃、消毒を念入りに行い、衛生管理は充実できた。スタッフにおいても、体調不良での欠勤はなく、健康管理も十分にできた。<br>3. 利用者様からは、満足の声を直接聞くことができた。            |

## 養護老人ホーム富士見園事業報告

### 1. 富士見園基本方針

- 1 利用者の皆さんの自立と個人の尊重を重んじ、生きがいを持ち、安心して楽しい生活が出来るように支援します。
- 2 職場の将来展望において、職員全員が共通意識のもと、意識改革と自己研鑽を積み、働く喜びを共に感じられる職場にします。
- 3 一施設としての事業展開にととまらず、広く地域の福祉推進者としての視点を常に持ち行動します。

### 2. 入居者の状況

#### 1) 実施機関別在園者数

R3.4.1 現在

| 機関<br>性別 | 大宮区 | 西区 | 北区 | 見沼区 | 中央区 | 桜区 | 浦和区 | 南区 | 緑区 | 岩槻区 | 富士見市 | 合計 |
|----------|-----|----|----|-----|-----|----|-----|----|----|-----|------|----|
| 男        | 9   | 8  | 7  | 4   | 1   | 1  | 1   | 0  | 0  | 8   | 0    | 39 |
| 女        | 8   | 13 | 9  | 9   | 1   | 2  | 0   | 0  | 0  | 3   | 1    | 46 |
| 計        | 17  | 21 | 16 | 13  | 2   | 3  | 1   | 0  | 0  | 11  | 1    | 85 |

#### 2) 年齢別在園者数

各年度末調べ

| 年度      | 平成 29 年度 |    | 平成 30 年度 |    | 平成 31 年度 |    | 令和 2 年度 |    |
|---------|----------|----|----------|----|----------|----|---------|----|
| 年齢      | 男        | 女  | 男        | 女  | 男        | 女  | 男       | 女  |
| 65 歳以下  | 2        | 1  | 3        | 0  | 0        | 0  | 0       | 0  |
| 65～70   | 4        | 2  | 4        | 3  | 4        | 2  | 4       | 2  |
| 71～75   | 7        | 6  | 7        | 7  | 8        | 4  | 7       | 3  |
| 76～80   | 11       | 12 | 14       | 10 | 12       | 11 | 14      | 14 |
| 81～85   | 8        | 7  | 5        | 9  | 10       | 11 | 8       | 11 |
| 86～90   | 7        | 11 | 8        | 10 | 3        | 5  | 4       | 8  |
| 91～99   | 2        | 6  | 3        | 5  | 2        | 7  | 2       | 8  |
| 100 歳以上 | 0        | 0  | 0        | 0  | 0        | 0  | 0       | 0  |
| 計       | 41       | 45 | 45       | 44 | 39       | 40 | 39      | 46 |
| 総計      | 86 名     |    | 89 名     |    | 79 名     |    | 85 名    |    |

※平均年齢 男 78.8 歳 女 82.8 歳 平均 80.9 歳 最高年齢 男 97 歳 女 99 歳

#### 3) 月別入・退所者状況

R2 年度分

| 月別 | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 計 |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|----|
| 在籍 | 78 | 78 | 78 | 84 | 85 | 82 | 83 | 84 | 84 | 83 | 84 | 85 |   |    |
| 入園 | 男  | 1  | 0  | 0  | 4  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 7 | 14 |
|    | 女  | 1  | 0  | 0  | 2  | 1  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 1  | 7 |    |
| 退所 | 男  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 3  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 5 | 6  |
|    | 女  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1 |    |

## 4)退所事由別

R2 年度分

| 年齢<br>性別 | 死 亡 | 施設替え<br>(特定施設等) | 入 院<br>(措置切れ) | 家庭復帰 | 計 |
|----------|-----|-----------------|---------------|------|---|
| 男        | 2   | 1               | 0             | 2    | 5 |
| 女        | 0   | 0               | 0             | 1    | 1 |
| 計        | 2   | 1               | 0             | 3    | 6 |

## 5)入園前の居所別

R3.3 末現在

| 居所<br>性別 | 家 庭     |    |          |            |            |            | 小計 | 病院<br>老健 | 施設<br>(救護)<br>(厚生)<br>(身障) | その他 | 計  |
|----------|---------|----|----------|------------|------------|------------|----|----------|----------------------------|-----|----|
|          | 配偶<br>者 | 子供 | 兄弟<br>姉妹 | その他<br>の親族 | ひとり<br>暮らし | その他<br>雇主等 |    |          |                            |     |    |
| 男        | 1       | 4  | 0        | 0          | 25         | 1          | 31 | 1        | 1                          | 6   | 39 |
| 女        | 0       | 6  | 3        | 3          | 32         | 0          | 44 | 2        | 0                          | 0   | 46 |
| 計        | 1       | 10 | 3        | 3          | 57         | 1          | 75 | 3        | 1                          | 6   | 85 |

## 6)在園期間別

R3.3 末現在

| 居所<br>性別 | 1年<br>未満 | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6~9 | 10~<br>14 | 15~<br>19 | 20年<br>以上 | 計  |
|----------|----------|----|----|----|----|----|-----|-----------|-----------|-----------|----|
| 男        | 3        | 5  | 7  | 2  | 5  | 3  | 8   | 4         | 2         | 0         | 39 |
| 女        | 7        | 3  | 6  | 6  | 4  | 3  | 7   | 9         | 1         | 0         | 46 |
| 計        | 10       | 8  | 13 | 8  | 9  | 6  | 15  | 13        | 3         | 0         | 85 |

平均在籍年数 6.2 年

## 7)介護保険認定状況

R3.4.1 現在

| 理由<br>性別 | 住宅<br>事情 | 身体<br>障害 | 精神<br>障害 | 病弱 | 家庭<br>不和 | 老齡<br>単独 | 経済的<br>理 由 | その他 | 計  |
|----------|----------|----------|----------|----|----------|----------|------------|-----|----|
| 男        | 1        | 1        | 5        | 1  | 0        | 7        | 20         | 4   | 39 |
| 女        | 9        | 0        | 7        | 0  | 6        | 8        | 16         | 0   | 46 |
| 計        | 10       | 1        | 12       | 1  | 6        | 15       | 36         | 4   | 85 |

## 8)介護保険認定状況

R3.4.1 現在

| 区分 | 要支援<br>I | 要支援<br>II | 要介護<br>I | 要介護<br>II | 要介護<br>III | 要介護<br>IV | 要介護<br>V | 合計 |
|----|----------|-----------|----------|-----------|------------|-----------|----------|----|
| 男  | 3        | 3         | 5        | 3         | 2          | 0         | 0        | 16 |
| 女  | 3        | 2         | 8        | 12        | 2          | 1         | 0        | 28 |
| 計  | 6        | 5         | 13       | 15        | 4          | 1         | 0        | 44 |



### 3. 目標に対する自己評価

|             |   |
|-------------|---|
| 富士見園<br>目標① | 施設整備計画を具体化する  |
| 重点課題        | ①施設整備計画を具体的に立案します<br>②施設の維持管理を計画的に実施していきます  |
| 評価          | ①施設整備を進めるため複数回にわたり行政に働きかけたが具体的な進展はなかった。<br>②築40年経過し施設の老朽化は急速に進んでいる。複数箇所で大不具合が生じ修繕を試みるが、修理不可能な箇所が多く発生し維持管理が出来なくなっている。利用者への安全な生活を提供するためにも早急な対応が必要と思われる。   |
| 富士見園<br>目標② | パッケージプランを整備し自立した生活が維持・継続できるよう支援する   |
| 重点課題        | ①パッケージプランに基づいた支援を実施する<br>②利用者が安全で快適に生活できるように支援する  |
| 評価          | ①昨年に続き一般利用者へ自立支援の強化を図った。機能維持、改善を目的とした運動やレクリエーションを実施した。<br>②ケース検討会、勉強会を定例化しサービスの向上を図った。<br>③感染予防のため外出禁止としたため園内での余暇を楽しんでいただくためにDVDプレーヤー・映画ソフトの貸出やゲーム玩具の購入などを行った。又、買い物代行も出来る限り実施した。<br>④利用者家族へ定期的にお便りと写真を送付した。 |
| 富士見園<br>目標③ | 年間研修計画を作成し実りある研修会参加を実現する  |
| 重点課題        | ①年間研修計画に基づき全職員の研修会等への参加を実施し職員の専門的知識・技術の習得、資質の向上に努める<br>②各職員の「チャレンジプラン」での能力開発目標に基づき、職員の資格取得やスキルアップのための研修会・講習会への参加を推進する   |
| 評価          | ①年間研修計画に基づき全職員研修参加を目標としたがコロナ感染予防のため多くの研修等が中止となった。<br>②養護分科会では、施設見学を兼ねた研修会を予定したがコロナ感染予防のため中止となる。<br>③次年度に向けてオンライン研修の準備を行った。  |
| 富士見園<br>目標④ | 防災体制・感染予防対策の整備強化を実施する   |
| 重点課題        | ①あらゆる災害に対応できるよう防災対策の整備と強化を図る<br>②災害時に必要な給食給水及び資機材配備の整備を行う<br>③緊急時の対応が迅速且つ的確に実施出来るための訓練・講習会を実施する<br>④感染予防対策の強化と見直しを行う  |

|             |   |
|-------------|---|
| 評価          | ①新型コロナ感染対策委員会を定期的開催し感染予防の徹底をはかった。<br>②新型コロナ感染対策として想定できるケースを事前に検討し対応策の準備を行った。  |
| 富士見園<br>目標⑤ | 地域に密着した福祉拠点を目指して行く  |
| 重点課題        | ① 地域福祉の拠点として施設の役割・機能を最大限発揮して行く<br>② 地域との交流を積極的図り、地域との連携と協力体制をより深めて行く<br>③ 介護体験や社会化体験などを目的とした研修生、実習生を積極的に受け入れていきます。又、ボランティア等の活動についても内容・目的など調整し受け入れして行く |
| 評価          | ①新型コロナ感染予防のため各行事の見直しを行った。<br>②大きな行事については、施設単独で出来る内容で開催した。<br>③ボランティア等の受入については感染予防のため中止とした。  |

## 2) セクション別 目標に対する自己評価

|       |   |
|-------|---|
| 養護 目標 | ADL 低下を防ぎ、園で安心して楽しく生活できるよう、自立に向けて支援していく   |
| 重点課題  | ・各セクションと連携を密にして、利用者個々の状態を把握し、その方にあった支援を行っていく。(残存機能の低下を防ぐ)<br>・「富士見園で生活して良かった」と思ってもらえるように、利用者と接していく  |
| 評価    | ・各セクションとの連携は、行えていたと思う。コロナの影響で、散歩・レク等十分に行えなかったが、利用者の ADL の残存の保持は出来ていると思う。<br>・問題をかかえた利用者と個々に話し、その都度、問題解決行えたと思う。  |
| 特定 目標 | 最期まで、富士見園で過ごしていただく  |
| 重点課題  | ・出来ている事を維持し、ご自身が出来るようになりたい事を見つける<br>・傾聴し、信頼関係を維持する<br>・報・連・相の徹底   |
| 評価    | 退所者は年度前半に2名、現入院者は1名、全体的に出来ることを維持しながら、落ち着いて過ごして頂いていると感じる。認知機能低下の為、不穏言動の方もおられるが、傾聴を行い、関わりを持つことで信頼関係を維持できたと思う。引き続き各セクションとの報告・連絡・相談を行ない【最後まで富士見園で過ごして頂く】よう支援を行っていきたい。 |
| 訪問 目標 | 在園者同士の繋がりの中で安心して住み続けられるよう支援体制づくりを進める  |
| 重点課題  | ・一人ひとりの性格・特徴を把握し全セクションで共有する<br>・出来る事を根気強く見守りし、さらに「褒める」を徹底する<br>・笑顔ある生活を共有できるように支援していく   |
| 評価    | 概ね目標に達成していると思われます。昨年はコロナ過で自粛制限があり引き続き現在も実施している中、職員の声かけで軽い手遊びや体操等してストレスのない工夫をし、在園者に安心した生活を提供した。  |

|        |  |
|--------|--|
| 医務室 目標 | 現在の健康状態・体力の維持  |
| 重点課題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々にあった服薬方法の考慮、確実な服薬確認</li> <li>・体調の変化に応じた、本人と家族への適切なアドバイス、必要に応じて受診の勧め・対応</li> </ul>                                      |
| 評価     | 薬の自己管理、医務室管理、お薬カレンダー使用など個々に合わせた服薬方法行い、まずまずの確実な服薬は出来た。だが、配薬の間違いや誤薬もあったことも否めない。また、体調管理に関し、アドバイス等行ってきたが、本人の意思と施設サイドの意見の違い等もあり、困難なことが多々あった。外出の自粛等もあり、体力は低下傾向にあったと思う。 |
| 厨房 目標  | ひとりでも多くの方にご満足頂ける食事作り   |
| 重点課題   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生面の徹底</li> <li>・作業工程及び作業時間の見直し</li> <li>・スキルアップと伴に研修参加</li> </ul>   |
| 評価     | 衛生面の徹底については、今後も継続する。作業工程及び時間については、その都度確認し調整を行い、改善や調整を行えたように思う。また食事アンケートの貴重なご意見を参考に、今後も食事作りを行う。   |

## 特別養護老人ホームひかわ事業報告

### 1. 事業概要

- 1) 入居者、一人ひとりに合った援助を心がけ、ひかわでよかったと、入居者とその家族に思ってもらえるよう努力します
- 2) 施設の全体行事として、あおぞら市・納涼大会・敬老会を行なう

### 2. 月間利用者数 (特養、短期合計)

|          |       |       |       |       |       |       |        |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 令和<br>1年 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 合計     |
|          | 3,300 | 3,370 | 3,341 | 3,550 | 3,391 | 3,306 |        |
|          | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 40,632 |
|          | 3,532 | 3,367 | 3,457 | 3,364 | 3,156 | 3,498 |        |
| 令和<br>2年 | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    | 9月    | 合計     |
|          | 3,514 | 3,585 | 3,435 | 3,540 | 3,477 | 3,339 |        |
|          | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 41,914 |
|          | 3,493 | 3,432 | 3,613 | 3,577 | 3,289 | 3,620 |        |

### 3. 退所の状況

退所者 24 名 (昨年度 31 名)

| 性別 | 年齢  | 介護度 | 退所理由     | 性別                         | 年齢  | 介護度 | 退所理由     |
|----|-----|-----|----------|----------------------------|-----|-----|----------|
| 女  | 88  | 5   | ひかわにて看取り | 女                          | 99  | 4   | ひかわにて看取り |
| 女  | 83  | 4   | 死亡       | 女                          | 97  | 3   | ひかわにて看取り |
| 女  | 84  | 5   | 療養入院     | 男                          | 87  | 1   | 三恵苑移動    |
| 女  | 93  | 4   | 三恵苑移動    | 女                          | 97  | 5   | 入院       |
| 男  | 81  | 4   | 療養入院     | 男                          | 91  | 3   | 入院       |
| 男  | 79  | 4   | 療養入院     | 女                          | 88  | 5   | 入院       |
| 女  | 77  | 3   | 療養入院     | 男                          | 103 | 5   | 死亡       |
| 女  | 83  | 4   | 死亡       | 男                          | 78  | 5   | 入院       |
| 男  | 94  | 4   | ひかわにて看取り | 女                          | 79  | 5   | 入院       |
| 男  | 80  | 4   | 療養入院     | 男                          | 83  | 4   | 入院       |
| 女  | 92  | 4   | 療養入院     | 女                          | 90  | 3   | 入院       |
| 女  | 101 | 5   | ひかわにて看取り | 退所者平均年齢歳 88.33 歳(昨年度 90.6) |     |     |          |
| 女  | 93  | 5   | ひかわにて看取り | 看取り 昨年度 7 名 今年度 6 名        |     |     |          |

### 4. 入居者の年齢構成

(4月1日時点)

|   | 60~<br>64 | 65~<br>69 | 70~<br>74 | 75~<br>79 | 80~<br>84 | 85~<br>89 | 90~<br>94 | 95~<br>99 | 100<br>~ | 平均   | 最高齢 |
|---|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|------|-----|
| 男 | 0         | 0         | 1         | 5         | 4         | 8         | 5         | 2         | 1        | 86.2 | 100 |
| 女 | 0         | 1         | 2         | 4         | 7         | 26        | 25        | 14        | 4        | 89.4 | 104 |
| 計 | 0         | 1         | 3         | 9         | 11        | 34        | 30        | 16        | 5        | 88.7 |     |

### 5. 入居者の介護度別人数

(4月1日時点)

| 介護度  | 介護度1 | 介護度2 | 介護度3 | 介護度4 | 介護度5 | 人数計 | 平均介護度 |
|------|------|------|------|------|------|-----|-------|
| 令和1年 | 8    | 9    | 33   | 32   | 23   | 105 | 3.50  |
| 令和2年 | 7    | 15   | 44   | 25   | 18   | 109 | 3.29  |

### 6. 月別入・退所者状況

| 月別  | 4   | 5   | 6   | 7   | 8   | 9   | 10  | 11  | 12  | 1   | 2   | 3   | 計 |    |    |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---|----|----|
| 在籍  | 109 | 106 | 106 | 105 | 103 | 101 | 103 | 105 | 108 | 107 | 104 | 106 |   |    |    |
| 入院者 | 5   | 3   | 6   | 3   | 1   | 2   | 2   | 11  | 3   | 5   | 4   | 4   |   |    |    |
| 入所  | 男   | 0   | 0   | 0   | 0   | 1   | 0   | 2   | 0   | 2   | 0   | 0   | 1 | 6  | 21 |
|     | 女   | 0   | 1   | 2   | 2   | 0   | 1   | 2   | 2   | 2   | 2   | 0   | 1 | 15 |    |
| 退所  | 男   | 0   | 2   | 1   | 1   | 1   | 1   | 0   | 1   | 0   | 1   | 0   | 1 | 9  | 22 |
|     | 女   | 3   | 0   | 2   | 3   | 0   | 1   | 0   | 0   | 3   | 1   | 0   | 0 | 13 |    |

### 7. 職員の状況 (特別養護老人ホーム、短期入所事業所の合計)

| 職名       | 人数 |     | 兼務の状況                | 性別 | 資格                |
|----------|----|-----|----------------------|----|-------------------|
|          | 常勤 | 非常勤 |                      |    |                   |
| 施設長      | 1  |     | ○                    | 男  | 介護福祉士、社会福祉主事      |
| 事務長      | 1  |     |                      | 女  | 社会福祉士、衛生管理者       |
| 事務員      | 1  |     |                      | 女  | 簿記検定1級            |
| 相談員・ケアマネ | 3  |     | ○                    | 男  | 介護支援専門員、介護福祉士     |
| 相談員・ケアマネ | 1  |     | ○                    | 女  | 介護支援専門員、社会福祉士     |
| ユニットリーダー | 2  |     |                      | 女  | 介護福祉士、ユニットリーダー研修  |
| ユニットリーダー | 2  |     |                      | 男  | 介護福祉士、介護支援専門員     |
| ユニットリーダー | 3  |     |                      | 男  | 介護福祉士、ユニットリーダー研修  |
| ユニットリーダー | 5  |     |                      | 男  | 介護福祉士             |
| 介護職      | 16 | 7   |                      | 女  | 介護福祉士、介護支援専門員(1名) |
| 介護職      | 11 | 0   |                      | 男  | 介護福祉士             |
| 介護職      | 1  | 0   |                      | 女  | 介護職員実務者研修         |
| 介護職      | 0  | 1   |                      | 男  | 介護職員実務者研修         |
| 介護職      | 6  | 18  |                      | 女  | 介護職員初任者研修         |
| 介護職      | 3  | 0   |                      | 男  | 資格なし              |
| 介護職      | 1  | 6   |                      | 女  | 資格なし              |
| 看護師      | 3  | 0   |                      | 女  | 看護師(1名派遣 4/30まで)  |
| 看護師      | 3  | 1   |                      | 女  | 准看護師              |
| 栄養士      | 2  | 0   |                      | 女  | 管理栄養士             |
| 介助員      | 0  | 3   | ○                    | 男  | 宿直兼務(1名)          |
| 宿直員      | 0  | 2   |                      | 男  |                   |
| 合計       | 65 | 38  | 介護職員 : 入居者数 1 : 1.71 |    |                   |

## 8. 目標に対する自己評価

|               |  |
|---------------|--|
| <p>特養 目標</p>  | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 24Hシートを適切に更新し有効活用をして、入居者一人ひとりの当り前の生活を実現する</li> <li>2. 質の向上を図るための研修へ継続的に参加し、研修内容を全職員に浸透させる</li> <li>3. フロア会議やユニット会議を活用し自分自身や仲間同士の接遇を見直す</li> </ol>  |
| <p>評価</p>     | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一年に一回の24Hシートの更新は、ユニットにもよるができていたところもあった。しかし、一方で一年に一回の更新すらできていないケースがあった。(情報が古いままになっていた。)そして、入居者の状態が変わった時には、臨機応変に24Hシートも更新しなければならないが、その都度の更新には至っていない。<br/>職員によって、又はユニットによっては上手く更新して新入職員へ配布したりと上手に有効活用しているケースも見られた。<br/>24Hシートを使ってケアを「見える化」する事で、自分たちのケアを振り返ることが出来、日々のケアの見直しのきっかけとなる事が大切。また、24Hシートによりユニットの職員みんながケアを統一する事にも大切な意味があるが、そこ前の活用には至っていないと思われる。活用できている部分とできていない部分があった。</li> <li>2. 外部研修については、新型コロナウイルスの影響で中止となった。施設内研修については、予定通りの研修は実施できる範囲で行えている状況ではある。(緊急事態宣言下においては、職員が集まって密にならないよう実施しなかった。)R2年度の実地指導でも指摘があったように、施設内研修の内容には問題ないと思われるが、研修に参加できなかった職員に向けてのフォローアップが不足していると思われる。資料を全職員が読み、感想を書いたりなど参加できなかった職員へのフォローの改善が必要だが、研修については概ね目的を達成できているので来年度の目標には掲げない事となる。</li> <li>3. フロア会議(各階のリーダー四人と相談員の会議)は、月に一回リーダー会議においてもお互い顔を合わせており年に数回程度でも問題はなく、各階年に1～数回の開催で大きな問題なし。ユニット会議では、入居者の現状やケアの方法について話をする事が多いが、仲間同士の接遇については言い合える環境にはなっていない。相談員から接遇に関して等話をする事はあるので、良い機会にはなっている。いずれも会議については、各階開催できており概ね目標達成と思われる。</li> <li>2. 3. については、今年度で一旦ひかわの目標を終了する。来年度は、新型コロナウイルスや増えてきている事故について新しく目標設定する事となる。</li> </ol> |
| <p>医務室 目標</p> | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護における的確、迅速な対応             <ol style="list-style-type: none"> <li>①医務室内の連携申し送りの徹底</li> <li>②他職種の業務内容の把握と連携</li> </ol> </li> <li>2. 生活面を重視した看護</li> </ol>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>①穏やかな生活が送れるよう支援</p> <p>②個々の既往、現病をふまえた生活の質の向上</p> <p>3. 看取り対応時の看護の役割</p> <p>①個人の尊厳・尊重を重視し、ご家族の思いに寄り添う</p>   |
| 評価    | <p>今後も更に他職種との共通認識(入居者の状態)が必要と感じる。時間を取り話し合いにて、すり合わせていきたい。</p>  |
| 厨房 目標 | <p>&lt;食事サービス部門&gt;</p> <p>1. ユニット毎での出張料理を行い、入居者の食への関心を高める。また、入居者の目の前で調理を行い、出来立てを食べて頂くことにより、家庭の雰囲気味わって戴けるよう努力する。</p> <p>2. 食材の調理法を工夫し、キザミ食の入居者でも、可能であれば形のまま提供できるよう努力する。</p> <p>3. 食中毒防止の為、厨房内の清掃の徹底と、従業員の衛生教育及び健康管理に勤める。</p> <p>4. 入居者の嗜好を把握し、定期的な献立の見直しや新メニューを取り入れることにより、喫食量の向上と、献立のマンネリ化防止を目指す。</p> <p>5. 四季に応じて旬の食材を献立にとり入れる。</p> <p>&lt;栄養管理部門&gt;</p> <p>1. 入居者、個々人の栄養状態及び嗜好の把握をする事により、喫食量の向上と健康面の安定を図る。又、好物の把握を終末栄養に活用していく。</p> <p>2. ユニットの特性を生かし、ユニット単位の料理・菓子作りの企画と協力。</p> <p>3. カンファレンス等により、他職種との連携を図り、栄養業務に生かしていく。又入居者個人の食の意向をつかんでいくことにより、食事量減退時や看取開始時に生かしていく。</p> <p>4. 嚥下調整食分類 2013 に基づく当施設の食態分類の構築<br/>(他事業所との食事関係の連携をスムーズにするために)</p> |
| 評価    | <p>(食事サービス部門)</p> <p>1. 出張料理は新型コロナウイルスの影響でユニットに上がれなかった。</p> <p>2. 大根・人参・里芋等時間をかけて柔らかく調理することで、刻まず提供できた。これからも食材の幅を増やしていきたい。</p> <p>3. 厨房の扉の閉め忘れがいまだにみられる。換気時以外は扉を閉めるよう注意する。</p> <p>4. 残菜等により嗜好を把握し、不評メニューの中止を行った。</p> <p>5. 鰹・筍等四季の食材を使用し献立を作成した。</p> <p>(栄養管理部門)</p> <p>1. 入居者個々人との触れ合いや、ユニット職員の聞き込みによりおおよその嗜好は把握できた。</p> <p>2. 栄養課主催の出張料理、今年度は実施できなかった。ユニットの要望により、ユニット単位で、50 回程度、昼食・おやつレクを実施、目の前で作る料理に入居者から喜びの声が聞かれた。</p>   |



|                |   |
|----------------|---|
|                | <p>3. カンファレンス等で入居者個々人の食の意向がつかめてきた。今後食欲がないときや看取り時等に生かして行きたい。</p> <p>4. 内案は出来たが、来年度は詰めの段階に入る。</p>   |
| A-1 ユニット<br>目標 | <p>1. 入居者の個性に合ったイベントの実施と介護を実行できるよう支援する</p> <p>2. 情報共有方法の見直しとスキルの向上</p>  |
| 評価             | <p>・イベントなどに関してはコロナ禍で難しい面も多かったが、調理おやつレクに関しては実行できた。しかし、日常のレクなどは日々の業務に追われがちで単調になってしまった。</p> <p>・介護の面に関して、入居者に合わせた生活、排泄等、職員同士の声掛けで早く対応することができていたが、優先順位がついてしまい後回しになる入居者が出てしまった。</p> <p>・情報共有ではヒヤリハットの活用などもあり、以前よりできている部分もあるが、特に医療関係でメモに記入するのみで、個人ファイルに転載されていない件がまだ多くあった。</p> |
| A-2 ユニット<br>目標 | <p>1. 職員間での情報共有を密にし、入居者一人ひとりに寄り添ったケアができるように努めていく</p> <p>2. 月間のイベントの充実を図り、楽しい生活を送れるよう努めていく</p>   |
| 評価             | <p>・職員間の情報共有は依然より出来ていたとの意見が多かったが、ノートやアセスメント表がまだまだ活用できていない点があった。</p> <p>・一人ひとりに寄り添ったケアについては、職員個々任せの部分が多く、方向性がバラバラな部分が目立っていた。</p> <p>・月間イベントに関しては全くできておらず、むしろ退屈な日常になってしまったことが多かった。</p>  |
| A-3 ユニット<br>目標 | <p>1. 一人ひとりが自分らしく過ごせるよう支援していく</p> <p>2. やる気を大切にし、持てる力を発揮できるよう支援していく</p> <p>3. 一人ひとりの幸せを実感できるよう支援していく</p> <p>4. 毎日一緒に楽しく過ごしていく</p>   |
| 評価             | <p>・自分らしく過ごせるよう支援ができたと思う。</p> <p>・努力はしたものの、一人ひとりのやる気を引き出すことはできなかった。</p> <p>・幸せを感じられるような支援ができたかはわからないが、出来ることは行った。</p> <p>・楽しかったと思ってもらえたかはわからないが、一緒に過ごせる時間は楽しく過ごせるよう努力はできた。</p>   |
| A-4 ユニット<br>目標 | <p>1. 入居者の要望を聞き取り、状態把握に常に努め、入居者が毎日楽しく安心して笑顔で生活できるユニット作り</p> <p>2. さらに職員間の連携を図り、穏やかで温かいユニット作り</p>  |
| 評価             | <p>・入居者の要望を聞き入れ日々の生活の中にだいが取り組めたと思う。反面、業務に追われ、適切な声掛けができないときもあったので、次年度では反省をいかしていきたい。</p>  |



|                |   |
|----------------|---|
|                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士話をする機会が多くあり、入居者の状態把握もだいぶ出来ていたと思うが、訴えの少ない入居者にもっと気を配ることが出来れば良かった。</li> <li>・話をする機会をこまめにもち、だいぶ職員間の連携がとれた面もあるが、申し送り忘れ等目立つこともあったので、次年度に改善していきたい。</li> <li>・業務に追われ優しい対応ができないこともあったと思う。</li> </ul>   |
| B-1 ユニット<br>目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 24H シートを活用し、個別ケアを実践する</li> <li>2. 職員間の連携を深め、申し送りミスや事故を防ぐ</li> <li>3. ユニット会議の内容を活かすと共に、職員の負担軽減を図る</li> <li>4. ユニット内の環境整備に気を配り、明るいユニット作りに励む</li> </ol>  |
| 評価             | <p>基本的に日々の業務に追われ実施出来ない事も多かったが、可能な範囲で目標達成に向けた取り組みは出来た。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 24H シートに関しては、内容を更新ごとに細かく行い、どのような個別ケアを行っているのか分かり易くなってきている。入居者毎に求められている事、出来ていない事等も24H シートを活用する事で確認しやすくなってきてる。</li> <li>2. 職員間の連携に関しては、入居者ファイルを作る事で、以前よりも情報共有がスムーズに行えるように取り組んでいる最中である。ペアユニットとの情報共有についても、改善をしていかなければならない課題である。</li> <li>3. ユニット会議では、職員の負担軽減に関する課題も取り上げ話し合いを行った。常勤職員・非常勤職員の業務に関して、それぞれ考えや技術・能力に差異があり、明確な役割決めをする事は困難な状況も見られるが、話し合いを重ねて取り組んでいる。</li> <li>4. 環境整備に関して、余暇の時間に活用する物品等を増やし、コミュニケーションツールのバリエーションを増やす事が出来たが、物に頼りすぎず、直接会話のコミュニケーションも欠かさず継続していく。物品の収納場所等、整理整頓について改善の余地があると思われる。</li> </ol> |
| B-2 ユニット<br>目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の声掛けや笑顔から入居者が穏やかに暮らせるユニットを作っていく</li> <li>2. 入居者を理解し、個々にあった声掛けの対応ができるユニットを作っていく</li> </ol>   |
| 評価             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 笑顔や表情で対応できていた事もあったが、時間に追われ出来ない事もあった。状況によって、入居者優先ではなくなり、仕事優先になる時もあり、仕事内容の再検討が必要と感じた。<br/>各入居者にとって、何が穏やかな生活なのかを考え直し、職員の力量を上げる必要を感じた。また、入居者の余生について、何に重きを置くのか…入居者の声を理解し、それを職員が実践する必要があると感じた。</li> <li>2. 入居者に合った声掛けや言い回しを考え、穏やかに過ごせる対応は出来ていたとは思うが、反面、個々の入居者と向き合い、理解した上での声掛けを考えせざるをえない場面もあった。その上で、職員間での共有を増やし、気持ちよく過ごせる対応、気分を不快にしない声掛けの仕方を身に付ける必要もあると感じた。また、自分が施設で生活するなら…という考えも提案しながら、それを活かしていく事でも、入居者のより良い生活に繋がっていくと思う。</li> </ol>  |

|                |  |
|----------------|--|
| B-3 ユニット<br>目標 | <p>1. 入居者一人ひとりと細目にコミュニケーションを図り、笑顔あふれる毎日を提供していく。</p> <p>2. 細目にコミュニケーションを図る事で、自分から訴える事の出来ない入居者に対して支援ができる事や満足感を少しでも持ってもらえるようにする。</p>  |
| 評価             | <p>1. 入居者一人ひとりとコミュニケーションをしっかりと取り、笑顔も見られていた。しかし業務に追われ、途中で話を終えてしまったり、話を聞きながらも次の仕事の流れを考えている事もあった。短時間でも相手の話に集中して、本当に伝えたい事を知る事が必要と感じた。</p> <p>2. 自分から訴えが出来ない入居者に対しては、意思を汲み取り支援が出来ていたと思う。</p>  |
| B-4 ユニット<br>目標 | <p>1. 接遇への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接遇を意識して、介護支援に取り組む。職員側の業務優先にならない事意識して入居者への声掛け、傾聴での生活支援をする。</li> </ul> <p>2. 介護面の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体操(身体・口腔)の充実を図る。</li> <li>・日常生活動作の充実を図る(立つ・座る場面を増やしていく)。</li> <li>・刺激や活性化の為に、多くの場面(レクリエーション・余暇活動等)の参加、場所(リビング、他ユニット等)等への誘導を図っていく。</li> </ul> <p>3. ユニット会議への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年4回以上、ユニット会議をする。上、下半期にて進捗状況の修正、評価し、また他職種の参加の調整をして、多方面から個別ケアに繋げていく。</li> </ul> |
| 評価             | <p>1. 前年度より、接遇への意識をする事で、声掛け、傾聴をする事ができた。業務進行中は、直接介助(トイレ等)が多くあり、職員の業務優先になってしまう事が多々見られましたが、職員として業務優先にならないように意識をしながら、入居者が気持ちよく生活をしてもらう為に、結果的に直接介助を優先した部分もあったと言う声も挙がった。次年度も意識をしていきたい。</p> <p>2. 体操内容を増やしたり、歌レク、屋上や外散歩の機会も増やす事ができた。食事関連の行事が少なかったため、次年度は多く企画をしていきたい。日々、入居者の状況、状態や意思確認を行い、臥床やリビングで過ごす時間も増え、活性化に繋がっていた。</p> <p>3. 会議を行う事で、ユニット職員全体の連携が図れた。他職種の参加が少なかったため、次年度は多くの参加を促していく。各委員会としても、ユニットの課題を挙げたり、数値化をする事で具体的な情報共有ができていた。</p>  |
| C-1 ユニット<br>目標 | <p>1. 入居者の誕生日会と別に、ユニット行事(レクリエーション)を増やし、施設生活を楽しく過ごして頂くよう支援する。</p> <p>2. 業務優先せず、入居者の行動を把握し、事故防止に努める事。</p>  |
| 評価             | <p>1. 入居者の誕生日会や、ユニットレクは毎月行うことができた。</p> <p>2. 重大事故を防ぎ、支援を行うことができた。</p>  |

|                |  |
|----------------|--|
| C-2 ユニット<br>目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者と積極的にコミュニケーションをとり、情報を共有する。</li> <li>2. 生活環境を整え、入居者が安心して生活できるように支援する。</li> </ol>   |
| 評価             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. コミュニケーションの取りやすい利用者が中心になってしまった。「積極的に」という点でまだ不十分と思われる。適宜、個別ケアを行うための情報の共有はできていた。</li> <li>2. ADL 低下傾向の方への安全を重点におき支援ができていたと思う。少しでも事故が無く安全に生活できるように居室の環境整備やユニット内の整理整頓をしていきたいと思う。</li> </ol>   |
| C-3 ユニット<br>目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者一人ひとりと積極的にコミュニケーションを取る機会を増やし、入居者のことを理解し、入居者のやりたいことや楽しみを見つけ、楽しみをもって生活していただく。</li> </ol>  |
| 評価             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの為、ご家族と面会できず入居者に不安感とストレスが溜まってしまった。</li> <li>・外出レクができず、食事レク等に内容が偏ってしまった。</li> <li>・ユニット目標やケア内容が統一できず大変だった。</li> <li>・職員が足りず、思ったような個別ケアが実践できなかった。</li> </ul>  |
| C-4 ユニット<br>目標 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 一人ひとりに合わせた活動を提供し、楽しく笑顔で生活していただけるようなケアを心掛ける。</li> <li>2. 季節感のある環境作りやレクリエーションを企画し、活気のあるユニット作りを心掛ける。</li> </ol>   |
| 評価             | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居者それぞれに合わせた活動をあまり提供できず、声掛けをしてコミュニケーションを取るだけになってしまった。</li> <li>2. ①センスが無く、季節感のある環境作りは出来なかった。</li> <li>②レクは食べるレクが殆どになってしまったが、楽しんでくれた。</li> <li>③新型コロナウイルスの影響もあって季節のレクを一部出来なかった。</li> <li>④業務に忙しく、入居者への細かなケアや声掛けが疎かになってしまった。</li> <li>⑤一人一人に合わせた活動は、忙しさの中で時間を作ることが出来なかった。</li> <li>⑥もう少し積極的にレクを計画し、実践すればよかった。</li> <li>⑦ユニット入口の飾りつけやユニット内の飾りつけは、季節ごとに合わせた飾りつけが出来たと思う。</li> </ol> |

## 通所介護事業報告書

### 1. 事業概要

特養併設型の通所介護事業所として、要介護・要支援者を対象に通常型のデイサービスで日帰り介護をし、在宅での生活が維持できるよう支援しています。また、総合事業「交流型」通所サービス「運動型」通所サービスを行い介護予防事業の一端を行っています。

### 2. 月間利用者数

|          |     |     |     |     |     |     |       |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 令和<br>1年 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  |       |
|          | 623 | 675 | 629 | 695 | 654 | 636 |       |
|          | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|          | 648 | 606 | 611 | 554 | 533 | 535 | 7,399 |
| 令和<br>2年 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  |       |
|          | 497 | 489 | 492 | 514 | 450 | 458 |       |
|          | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|          | 457 | 399 | 394 | 324 | 363 | 398 | 5,235 |

### 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

| 要介護度   | 事業対象 | 要支援 | 介護度 1 | 介護度 2 | 介護度 3 | 介護度 4 | 介護度 5 |
|--------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 令和 1 年 | 13   | 5   | 14    | 12    | 14    | 3     | 4     |
| 令和 2 年 | 12   | 5   | 14    | 11    | 5     | 5     | 3     |

### 4. 事業所で特別に行ったこと

- 利用者のお誕生日に、お花・写真のプレゼント。
- 新年会、節分、ひな祭り、お花見、夏祭り、クリスマス会などの季節行事。
- 敬老の日前後に、「感謝祭」を開催。他部署の職員にも加わってもらう。
- さつま芋・野菜・花等の園芸活動や、桜・バラ・コスモス観賞のドライブ。＝中止
- 各種舞踊やマジック、朗読会などのボランティアをお招き。＝中止

### 5. 職員の状況

(3月末日現在)

| 職名       | 人数 |     | 兼務の<br>状況 | 性別 | 資格            |
|----------|----|-----|-----------|----|---------------|
|          | 常勤 | 非常勤 |           |    |               |
| 相談員(管理者) | 1  |     | ○         | 男  | 介護支援専門員、社会福祉士 |
| 相談員      | 1  |     |           | 男  | 介護支援専門員、介護福祉士 |
| 介護職      | 2  | 3   |           | 女  | 介護福祉士         |
| 介護職      |    | 1   |           | 女  |               |
| 看護師      |    | 3   |           | 女  | 准看護師          |
| 運転手      |    | 3   |           | 男  | 普通自           |
| 合計       | 4  | 10  |           |    |               |

## 6. 目標に対する自己評価

|           |  |
|-----------|--|
| 通所<br>目標① | 利用者の個性を生かした生きがい作りのお手伝いをし、利用者と家族の笑顔が増えるよう支援する。  |
| 重点課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集団での楽しみ「遊びリテーション」と個別での楽しみ「選択レクリエーション」を充実させる</li> <li>・「季節行事」「園芸活動」を通して生活意欲を高める</li> <li>・積極的なボランティア等受け入れに努める</li> <li>・職員の資質の向上に努める</li> <li>・接遇向上に取り組む</li> </ul> |
| 評価        | <p>新型コロナウイルスによりボランティアの受け入れの中止、外出イベントの中止、園芸活動の中止など活動の制限を余儀なくされてしまった。感染症対策を徹底しつつ楽しめる活動を検討していきたい。</p> <p>職員の外部研修がほとんど出来なかった。ミーティングにて定期的に業務内容・接遇等の話し合い確認を行った。</p>  |
| 通所<br>目標② | 広報活動に努める   |
| 重点課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「ほほえみだより」を作成する</li> <li>・法人のホームページを活用する</li> <li>・居宅介護支援事業所へ広報する</li> </ul>  |
| 評価        | <p>新型コロナウイルスの影響もあり利用者の減少、また積極的な外部への広報活動が出来なかった。利用者増に向けてパンフレット、広報誌、ホームページなど活用し積極的に広報していきたい。</p>   |

# 在宅介護支援センター事業報告

## 1. 事業概要

在宅で生活しているお年寄りが、日常生活を営むために必要な保健医療サービス又は福祉サービスの適切な利用をすることが出来るよう計画を作成すると共に、市からの事業受託にて独居高齢者等の実態把握や介護サービス啓発のための事業などを行っています。

## 2. 月間利用者延数

|          |     |     |     |     |     |     |       |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 令和<br>1年 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  |       |
|          | 198 | 198 | 193 | 193 | 192 | 192 |       |
|          | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|          | 193 | 195 | 200 | 205 | 210 | 218 | 2,387 |
| 令和<br>2年 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  |       |
|          | 205 | 211 | 205 | 215 | 211 | 218 |       |
|          | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 合計    |
|          | 222 | 224 | 220 | 212 | 219 | 216 | 2578  |

※上記数は要介護+要支援(総合事業利用者含む)。

## 3. 介護度別利用者数

(3月末日現在)

| 要介護度 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合計  |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 令和1年 | 24  | 27  | 75  | 40  | 29  | 16  | 7   | 218 |
| 令和2年 | 23  | 18  | 84  | 47  | 18  | 19  | 7   | 216 |

## 4. 事業所で特別に行ったこと

- 県立大学IP演習参画～中止
- ケアマネジャー合格者実務研修実習生受け入れ～中止
- 出張無料相談会(西楽園、湯けむり横丁) 3回
- 高齢者サロン(自治会勉強会)でのお手伝い 1回
- 指扇地区社協学習部会出席 5回
- 指扇地区社協地域交流部会出席 6回
- 指扇地区社協理事会出席 2回
- 一人暮らし高齢者世帯見守り訪問(随時)
- 民協への広報活動 1回
- ふれあい会食で相談窓口の設置(指扇及び内野地区社協) ～中止
- 西区区民まつりへの出展～中止
- 西区「健幸フェスティバル」参画(10月)
- 包括三恵苑地域支援会議出席～中止
- 劇団にしく参加(打ち合わせ) 1回

## 5. 職員の状況

(3月末日現在)

| 職名             | 人数          |     | 兼務<br>の<br>状況 | 性別               | 資格  |
|----------------|-------------|-----|---------------|------------------|---|
|                | 常勤          | 非常勤 |               |                  |   |
| センター長<br>(管理者) | 1           |     | ○             | 男                | 主任介護支援専門員   |
| ケアマネ           | 1<br>2<br>1 | 1   |               | 女<br>女<br>男<br>女 | 主任介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉<br>介護支援専門員 介護福祉士<br>介護支援専門員 介護福祉士<br>介護支援専門員 社会福祉士 介護福祉士 |
| 合計             | 5           | 1   |               |                  |   |

## 6. 目標に対する自己評価

|               |  |
|---------------|--|
| 支援センター<br>目標① | 利用者数の増数<br>下げ止まった昨年度を継承し、1割増の165件を目標とする。   |
| 重点課題          | 軽度要介護認定利用者は着実に増数できている。重度者は新規依頼者に比して契約終了者のペースが速く、軽度者よりも新規者獲得ペースを上げる必要がある。昨年度からのパンフ配布や日頃からスピード感ある対応により、各所へ新規利用者歓迎の姿勢をアピールする。 |
| 評価            | 件数は目標の165件に対し176件と達成した。新たにパンフレットを作成し周辺の病院へ常置して頂いたり、ソーシャルワーカーへ手渡ししたこと、及び指扇地区を主に民生委員全員へ会合や社協会長から直接の配布ができたこと等が評価できる。          |
| 支援センター<br>目標② | 福祉機関として地域に貢献し、事業所の存在を地域に定着させる。   |
| 重点課題          | 繋がりが深まった地区社協の地域活動に、引き続き積極的に参加。昨年末から民生委員に新任者が多く就いており、その方々へ支援の意識も持つ。   |
| 評価            | 新型コロナウイルスにより地域活動がほとんど実施されず、動きがとれない一年だった。それでも、指扇地区新任の民生委員の集まりがあった際(12月)には先方から招かれ「コロナフレイル」について啓発ができた。                        |

## 地域包括支援センター事業報告

### 1. 事業概要(実績)

|          | 地域活動  | ネットワーク構築   | 認知症サポーター養成講座、その他   |
|----------|---|--|--|
| R2<br>4月 |   |  |  |
| 5月       |   |  |  |
| 6月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりクラブ(内野公民館)</li> <li>・三橋6丁目イキイキ体操クラブ(三橋6丁目自治会館)</li> <li>・さわやか体操サロン(内野公民館)</li> <li>・あじさいの会指扇(指扇公民館)</li> <li>・シャボン玉サークル(内野公民館)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・西区地域包括連絡会(書面開催)</li> </ul> |  |
| 7月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あじさいの会指扇(指扇公民館)</li> <li>・シャボン玉サークル(内野公民館)</li> <li>・さわやか体操サロン(内野公民館)</li> <li>・すみれ体操サークル(内野公民館)</li> <li>・三橋6丁目イキイキ体操クラブ(三橋6丁目自治会館)</li> </ul> |  |  |
| 8月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あじさいの会指扇(指扇公民館)</li> <li>・ひまわりクラブ(内野公民館)</li> </ul>   |  |  |
| 9月       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あじさいの会指扇(指扇公民館)</li> </ul>  |  |  |
| 10月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやか体操クラブ(内野本郷自治会館)</li> <li>・きらめきサロン(内野本郷自治会館)</li> <li>・すこやか運動教室(内野公民館)</li> <li>・あじさいの会指扇(指扇公民館)</li> </ul>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指扇地区民生児童委員協議会</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸フェスタ(指扇公民館)</li> </ul> |
| 11月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あじさいの会指扇(指扇公民館)</li> <li>・CCさいたま三橋クラブ(シティハイツ集会所)</li> <li>・グラウンドマスト西大宮</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・西区地域包括連絡会(書面開催)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健幸フェスタ(内野公民館)</li> </ul> |
| 12月      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわやか体操サロン(内野公民館)</li> </ul>   |  |  |
| R3<br>1月 |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域支援会議(書面開催)</li> </ul>    |  |
| 2月       |   |  |  |
| 3月       |   |  |  |

### 2. 月間利用者数

|      |     |     |     |     |     |     |       |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| 令和1年 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 合計    |
|      | 457 | 456 | 465 | 476 | 466 | 470 |       |
|      | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 5,539 |
|      | 471 | 461 | 459 | 468 | 459 | 431 |       |
| 令和2年 | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 合計    |
|      | 415 | 440 | 469 | 462 | 449 | 456 |       |
|      | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 5471  |
|      | 450 | 465 | 465 | 454 | 471 | 475 |       |



### 3. 職員の状況

| 職名           | 人数     |     | 兼務の状況 | 性別     | 資格            |
|--------------|--------|-----|-------|--------|---------------|
|              | 常勤     | 非常勤 |       |        |               |
| 管理者・社会福祉士    | 1      |     | ○     | 男      | 社会福祉士 介護支援専門員 |
| 社会福祉士        | 1<br>1 |     |       | 男<br>女 |               |
| 主任介護支援専門員    | 3      |     |       | 女      | 介護支援専門員 介護福祉士 |
| 看護師          | 2      |     |       | 女      | 看護師 介護支援専門員   |
| 生活支援コーディネーター |        | 1   |       | 男      |               |
| 合計           | 8      | 1   |       |        |               |

### 4. 目標に対する自己評価

|       |   |
|-------|---|
| 包括目標① | ケアプラン作成において、多様な地域の社会資源を位置づけできるよう、サロンの情報を整理、収集しケアマネジャーへも周知する。  |
| 重点課題  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンの情報の収集と既存の情報を整理する。</li> <li>・ケアマネジメントマニュアルを包括職員が理解するとともに委託先ケアマネジャーへ周知する。</li> <li>・委託先ケアマネジャーへモデル的なケアプランの紹介と情報交換を行なう。</li> </ul>                                 |
| 評価    | サロンの情報収集と既存の情報の整理を行ったが、ケアマネジャーに周知することは、ケアマネ会議にて1回、さいたま市職員に説明した。しかし、周知は、この1回のみとなってしまう、その後のケアマネジャーへのケアプランの紹介や情報交換は、新型コロナウイルスの影響で集まることができないままとなっている。近年、社会資源については、ケアマネジャーから情報提供の依頼が増えているため、周知する方法を引き続き検討していきたい。 |
| 包括目標② | 認知症の方に対する接し方を周知する   |
| 重点課題  | 現在は依頼があった地域にて認知症サポーター養成講座を実施しているが、過去に実施していない地域や認知症が原因で近隣との関係が悪化しているケースがある地域で認知症サポーター養成講座を実施できるようアプローチしていく。  |
| 評価    | 昨年度は新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が中止となった。地域包括の活動も自粛した期間が長く、認知症サポーター養成講座を開催するためにアプローチすることができなかった。新型コロナウイルスの影響は今後も続くと思われるが、感染状況を見ながら開催できるよう地域へアプローチしていきたい。  |